

# 普及啓発活動実績

～日本赤十字社における献血推進の取組み～

平成 20 年 9 月 3 日

## 目 次

1. 献血構造改革	1
(1) 若年層献血等確保推進事業	1
ア. 青少年等献血ふれあい事業	
イ. 若年者献血セミナー事業	
ウ. 献血協力団体研修事業	
エ. 献血協賛企業活動推進事業	
(2) 複数回献血協力者確保事業	2
2. 献血推進のための広報活動	3
(1) いのちと献血俳句コンテストの実施 (10～3月)	3
(2) 全国献血キャンペーンの実施	4
ア. 愛の血液助け合い運動月間 (7月)	
イ. 全国学生クリスマス献血キャンペーンの実施 (12月)	
ウ. はたちの献血キャンペーン (1～2月)	
エ. 春の献血キャンペーン (3～4月)	
3. その他広報活動	8
(1) 献血啓発用教材の制作と配布	8
(2) 献血協賛企業活動推進のための広活動	9
ア. ポスター・ステッカーの制作と活用	
イ. 専用WEBサイトの構築	
ウ. 全国規模の企業・団体への働きかけ	
(3) メディアからの取材対応	10
(4) 複数回献血者クラブ会員へのサービス向上のための広活動	11
4. 献血者確保対策	12
(1) 若年層献血者への献血要請	12
(2) 献血推進団体による献血協力者募集活動の促進	12
(3) 若年層献血確保対策	13
(4) 複数回献血者確保対策	13
(5) その他確保対策	14
5. 献血受入れ環境の整備	14

## 日本赤十字社における献血推進の取組み

日本赤十字社の役割は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の第六条（採血事業者の責務）に、献血の受入れを推進し、血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保に協力するとともに、献血者等の保護に努めなければならないことと定められています。

### 1. 献血構造改革

平成 18 年 3 月に国から示された「献血構造改革」を踏まえ、将来にわたって安定的に献血者を確保できる基盤づくりを目的として、(1)「若年層献血等確保推進事業」(ア. 青少年等献血ふれあい事業 イ. 若年者献血セミナー事業 ウ. 献血協力団体研修事業 エ. 献血協賛企業活動推進事業)及び(2)「複数回献血協力者確保事業」を実施しています。

#### (1) 若年層献血等確保推進事業

少子高齢化が益々進行していく中で、将来にわたって安定的に献血者を確保できる基盤をつくるため、若年者（10代、20代）への献血普及・啓発を実施する。

	目標 (献血者全体に占める 10代、20代の割合)	実績
平成 18 年度	30.0%	31.0%
平成 19 年度	32.0%	29.2%

#### ア. 青少年等献血ふれあい事業

(別紙 P1~4 参照)

血液センター、血漿分画センター、献血バス等の施設見学を推進し、スライド等の説明用資材を活用した説明会や献血ボランティア体験学習等を行う。

区分 年度	実施回数		参加人数						
	目標	実績	目標	実績					
				幼児	小学	中学	高校	保護者	合計
平成 18 年度	48	474	15,360	989	15,561	1,579	9,742	3,685	31,556
平成 19 年度	53	571	16,900	934	12,062	2,714	6,925	4,557	27,192

イ. 若年者献血セミナー事業

(別紙 P5～6 参照)

血液センター施設及び地域の施設等を利用して、若年者向けの献血セミナーを開催し、献血への理解と協力意識の向上を図る。

区分 年度	実施回数		参加人数					
	目標	実績	実績					
			高校	大学	他学生	社会人	その他	合計
平成 18 年度	94	209	8,202	7,476	2,466	2,005	5,070	25,219
平成 19 年度	103	322	10,926	7,651	6,445	2,551	873	27,192

※参加人数の目標は平成 18 年度実績を基準として毎年 10%増加させること。

ウ. 献血協力団体研修事業

学生ボランティア及び献血推進団体の連携強化を目的として、より一層献血推進活動が活発になるよう相互の打合せ会や研修会を開催する。

(全国 7 ブロック 単位に実施)

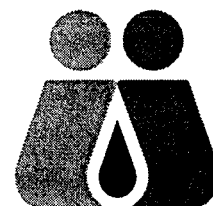
区分 年度	実施回数		参加人数					
	目標	実績	実績					
			高校	大学	他学生	社会人	その他	合計
平成 18 年度	48	26	1	337	47	400	25	810
平成 19 年度	53	33	0	491	65	483	315	1,354

※参加人数の目標は平成 18 年度実績を基準として毎年 10%増加させること。

エ. 献血協賛企業活動推進事業

献血協力企業・団体が行う献血活動を社会貢献活動の一つとして広く社会に認知されるよう、ロゴマーク等を発行することにより、企業・団体が行う献血活動の普及・拡大を図る。

区分 年度	ロゴマーク 配布数	献血協力企業・団体数	
		目標	実績
平成 17 年度	—	—	24,220
平成 18 年度	1,454	30,300	30,835
平成 19 年度	1,895	33,600	34,059



献血サポーター

全国的な広報活動として、献血協賛企業・団体募集用ポスター、ステッカーを制作し活用するとともに、WEB専用サイトを構築し、参加企業・団体の募集活動に努めている。

## (2) 複数回献血協力者確保事業

(別紙 P7～9 参照)

安全な血液を安定的に確保するため、一年間に2回以上献血に協力する献血者（以下「複数回献血協力者」という。）を確保する。

各血液センター毎に複数回献血協力者を確保するためのクラブを設立し、クラブ会員に対して、情報誌の発行及び電子メール等による情報発信、各種講演会等の開催、健康相談事業の実施等により、複数回献血協力者の確保推進を図る。

	クラブ 会員数	情報誌等 発行部数	講演会等 開催数	健康相談 実施回数	献血者数	
					年1回	年2回以上
平成17年度	—	—	—	—	2,419,644 (73%)	917,482 (27%)
平成18年度	70,800	2,501,293	81	1,121	2,262,210 (72%)	883,612 (28%)
平成19年度	109,400	2,527,731	80	1,280	2,160,700 (70%)	904,773 (30%)

クラブ会員には、成分献血の予約、携帯待受け画像(血液型別)、パソコン用壁紙(血液型別)、スクリーンセーバーの提供及び携帯着メロのダウンロードサービスを提供しており、さらに本年4月からは携帯及びパソコンから献血履歴や血液検査成績が照会できる機能を構築し運用している。

## 2. 献血推進のための広報活動

### (1) いのちと献血俳句コンテストの実施(10～3月)

厚生労働省、文部科学省、各都道府県及び市町村教育委員会等の後援により、小学生から高校生を中心に広く一般の方々も巻き込んで、俳句コンテストを実施し、俳句の応募を通じて、年少者のうちから献血の啓発する機会を広げている。

応募の募集にあたっては、全国約45,000校の小学校から高等学校までの学校へご案内するとともに、全国の教師が集うネットワークに働きかけ、献血の知識について解説した教材(テキスト)を配布し、授業現場に取り入れ易いようなアプローチを実施している。



	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
応募作品数	約 28 万	約 35 万	38 万以上(目標)
応募団体数	小学校 2,239 校 中学校 880 校 高等学校 391 校	小学校 2,129 校 中学校 1,050 校 高等学校 636 校 一般団体 34 団体	
全国表彰	平成 19 年 2 月 テレビ東京スタジオ 厚生大臣賞、審査員特別賞、日本赤十字社長賞等	平成 20 年 2 月 東京プリンスホテル 厚生大臣賞、文部科学大臣賞、審査員特別賞、日本赤十字社長、日赤本部長賞等	平成 21 年 1 月下旬 (場所未定)
各血液センター表彰	平成 19 年 3 月 血液センター所長賞等	平成 20 年 3 月 血液センター所長等	
作品集	6 万部	6 万部	

※平成 18 年度第 1 回目開催。平成 18 年度以前は関東・甲信越ブロックで 4 年間実施。

## (2) 全国献血キャンペーンの実施

### ア. 愛の血液助け合い運動月間 (7 月)

すべての血液製剤を国民の献血によって安定的に確保する体制を早期に確立するため、広く国民の間に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に継続的な推進が必要な成分献血・400mL 献血への協力と血液製剤の適正使用への協力を求め、献血運動の一層の推進を図ることを目的とする。

### ア) 全国的に実施したこと (平成 19 年度実績)

項目	内容	備考
広報資材制作	ポスター CM素材 ニュースリリース	血液センターへ配布
宣伝	全国紙新聞広告 駅貼りポスター (東京、大阪) 各メディアへのニュースリリース発信	
第 43 回全国献血運動推進大会	採血会場御視察 昭和天皇記念等表彰 体験発表	厚生労働省、福井県と共催



イ) 各血液センターが実施したこと（平成 19 年度実績）

項目	内容	備考
広報資材活用	ポスター CM素材 ニュースリリース	献血推進団体、各報道機関等への配布・出稿
イベント・キャンペーンの実施	学生サマー献血キャンペーン 献血パレード タイアップキャンペーン	都道府県及び市町村、各献血推進団体と連携した各種キャンペーンを実施
宣伝	各種媒体の活用 ノベルティの制作・配布 大垂幕、看板等の資材制作	
PR活動	各報道機関へのイベント、キャンペーンの取材誘致	

イ. 全国学生クリスマス献血キャンペーンの実施（12月）

全国の学生代表による「全国学生献血推進実行委員会」を年3回実施し、さらに全国各都道府県から学生を集めた「全国学生献血推進代表者会議」を開催し、毎年12月1日～24日の間で、全国各地にて学生主体によるクリスマス献血キャンペーンを実施している。

1988年(昭和63年)より、冬季献血者確保を目的に実施しており、学生みずからが企画し、献血への理解と協力をアピールすることにより、若年層への献血啓発に繋がっている。

(平成19年度献血実績 約13,000人)

ウ. はたちの献血キャンペーン (1~2月)

献血者が減少しがちな冬期において、安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く国民各層に対して献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に成分献血・400mL献血の継続的な推進を図ることを目的とし実施している。

ア) 全国的に実施したこと (平成19年度実績)

項目	内容	備考
広報資材制作	ポスター CM素材 ニュースリリース	血液センターへ配布
宣伝	テレビスポット ラジオスポット (東京、大阪) 交通広告 (山手線、大阪市営地下鉄) 各メディアへのニュースリリース 発信	民放連、民鉄協、日本コミュニティ放送協会の各本部へ後援の依頼を実施
イベント	記者発表会 (東京) 街頭イベント (大阪)	メディア取材誘致
ノベルティ	献血者記念品の制作	血液センターへ配布



イ) 各血液センターが実施したこと (平成19年度実績)

項目	内容	備考
広報資材活用	ポスター CM素材 ニュースリリース	献血推進団体、各報道機関等への配布・出稿



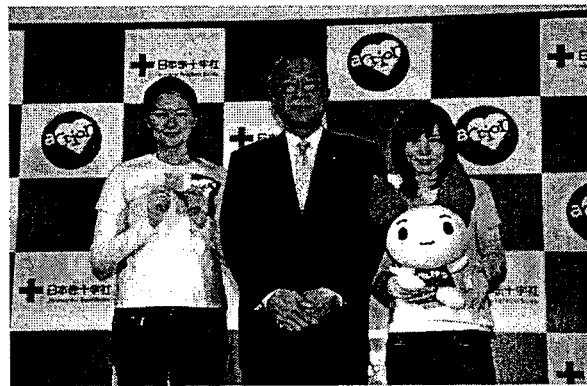
イベント・キャンペーンの実施	成人式献血 献血パネル展 タイアップキャンペーン 著名人、スポーツ選手等を起用した 各種イベントの実施	都道府県及び市町村、各献血推進団体、学生ボランティアと連携した各種キャンペーンを実施
宣伝	各種媒体の活用 ノベルティの制作・配布 横断幕、看板等の資材制作	民放連、民鉄協、日本コミュニティ放送協会に加盟している放送局や団体へ協力依頼を実施
PR活動	各報道機関へのイベント、キャンペーンの取材誘致	

### エ. 春の献血キャンペーン (3~4月)

一年のうちで最も献血者が減少する春の時期の輸血用血液の安定供給を図るため、献血動員が図られるような広報活動を展開し、若年層献血及び複数回献血、400mL献血の実質的効果を出すことを目的とする。

#### ア) 全国的に実施したこと (平成19年度実績)

項目	内容	備考
広報資材制作	ポスター CM素材 ニュースリリース キャンペーン告知用リーフレットの制作	血液センターへ配布
宣伝	テレビスポット ラジオスポット (毎週火・木・土曜) WEB専用ページ (キャンペーングッズの応募案内など) 各メディアへのニュースリリース発信	民放連、民鉄協、日本コミュニティ放送協会の各本部へ協力依頼を実施
イベント	記者発表会	メディア取材誘致
ノベルティ	キャンペーンTシャツ 献血者記念品の制作	血液センターへ配布



イ) 各血液センターが実施したこと（平成 19 年度実績）

項目	内容	備考
広報資材活用	ポスター CM素材 ニュースリリース	献血推進団体、各報道機関等への配布・出稿
イベント・キャンペーンの実施	高校卒業献血 献血パネル展 タイアップキャンペーン 団体献血の実施をメディア取材誘致	都道府県及び市町村、各献血推進団体、学生ボランティアと連携した各種キャンペーンを実施
宣伝	各種媒体の活用 ノベルティの制作・配布 新聞折込チラシの配布	民放連、民鉄協、日本コミュニティ放送協会に加盟している放送局や団体へ協力依頼を実施
PR活動	各報道機関へのイベント、キャンペーンの取材誘致	

3. その他広報活動

(1) 献血啓発用教材の制作と配布

小学生向け献血啓発用教材として「おしえて けんけつちゃん DVD」を制作し、青少年赤十字に加盟している全国の小学校(約 6,000 校)へ教師用テキストとともに配布し、血液に関する知識や献血の大切さを学校教育を通じて広める取組みを実施した。

(平成 19 年秋)



(2) 献血協賛企業活動推進のための広報活動

ア. ポスター・ステッカーの制作と活用

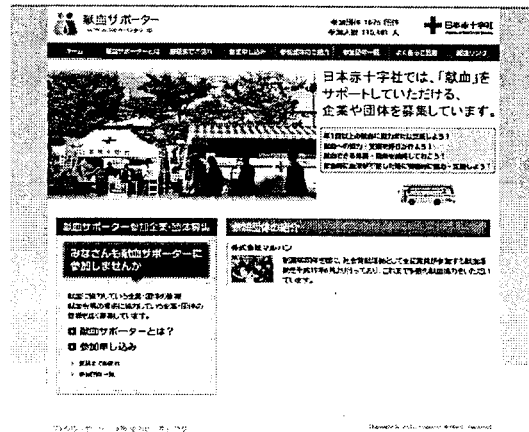
企業・団体が行う献血活動をもっと広く社会的に認知させるために活用するロゴマークの周知及び利用拡大化を図るために献血協賛企業募集のためのポスターを製作し、ロゴマークをシール化にして、各血液センターへ配付した。



イ. 専用WEBサイトの構築

「献血サポーター」活動への参加登録方法について、インターネットからの参加登録機能を構築することにより、利便性の向上と手続きに係る時間短縮を図り、更なる「献血サポーター」活動への参加企業・団体の増加を図る目的で平成20年2月1日より専用WEBサイトを構築し運用している。

(別紙 P10 参照)



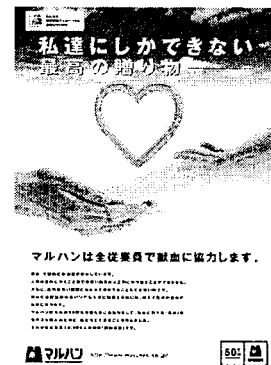
専用サイトのアドレス

<https://www.ken-sapo.jp/>

ウ. 全国規模の企業・団体への働きかけ

日本赤十字社本社では、全国的な組織である企業・団体に対して、「献血サポーター」活動への参加とともに、全国規模の献血実施を働きかけている。

(別紙 P11 参照)



(平成 19 年度)

企業・団体	イベント名など	平成 19 年度 実績
全国遊技場組合 加盟企業	創業 50 周年社会貢献活動として「全 社員及び家族による献血協力」	約 2,000 人
大規模商業施設	全国 40 店全店舗での献血実施	約 4 万人
全国冠婚葬祭 互助会連盟	創立 50 周年記念「5000 人献血キャン ペーン」	約 5000 人
日本カーライフ アシスト(JACRA) 加盟自動車教習 所	全国 314 校に設置している大型ビジ ョンを通じて「いっしょに献血キャン ペーン」CMの放映 全国 9 万人の教習生会員カードへの 宣伝	—

### (3) メディアからの取材対応

全国献血キャンペーン以外にも、各種メディアからの取材依頼に基づき、取材協力を行っています。

(平成 19 年度 血液事業本部が直接取材対応した事例)

No.	区分	報道機関名	取材タイトル・内容など
1	雑誌	リクルート	意外と知られていない「献血ご遠慮」 の規定とは
2	テレビ	NHK	献血件数及び HIV 抗体・核酸増幅検 査陽性件数
3	新聞	日本経済新聞	献血小学生も身近に「日赤 DVD 作成」
4	雑誌	㈱マガジンハウス	掲載雑誌「Tarzan」タイトル「なぜ 毎日、血液不足なの？そこで、献血 について考えた」
5	新聞	読売新聞	「医療ルネッサンス」にて 5 回掲載
6	テレビ	BS朝日	番組名「峰竜太のナッ得！ニッポン」 「愛の血液助け合い運動について」
7	テレビ	フジテレビ	番組名「幸せって何だっけ」 コーナータイトル「ココロで読む 話題のニ ュース」 →ニュースは「血液不足」

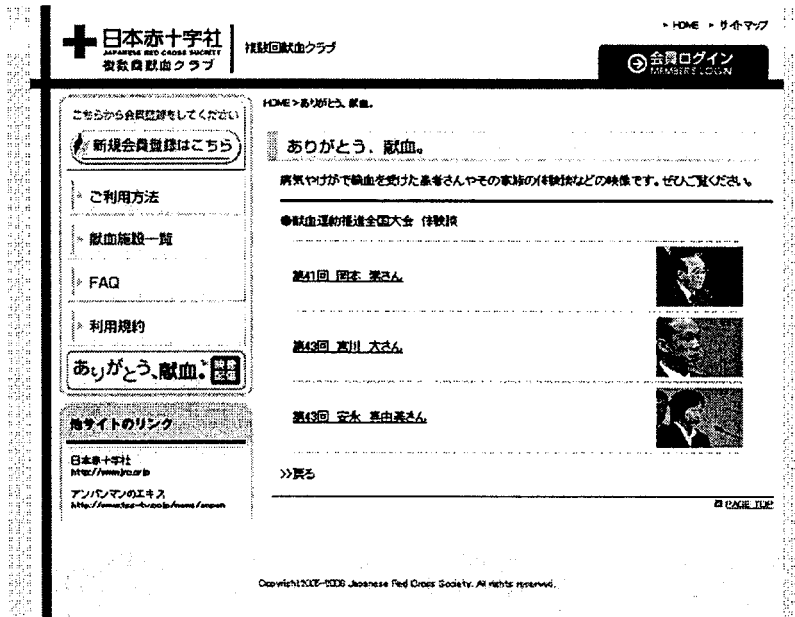
8	インターネット	㈱ファーマインターナショナル	e-血液 TV「日本の血液事業について」
9	政府広報テレビ	日本テレビ	新ニッポン探検隊! 「はたちの献血キャンペーン」
10	政府広報テレビ	テレビ神奈川	Just Japan(ジヤスト ジャパン) 「はたちの献血キャンペーン」
11	政府広報ラジオ	ニッポン放送	栗村智の HAPPY!ニッポン 「はたちの献血キャンペーン」
12	テレビ	NHK/BS データ放送	医療福祉コーナーでの献血の紹介
13	フリーペーパー	学生新聞	献血体験記事 若年層献血の呼びかけ
14	テレビ	フジテレビ FNN スーパーニュース・ウィークエンド「遠藤玲子 NEWS コンシェルジュ」	若年層献血の減少 献血ルームのサービス
15	テレビ	スカイパーフェクト TV 医療福祉チャンネル 774	献血の推進と安全性への取り組み
16	新聞	日刊スポーツ(東京)	若年層献血の呼びかけと HIV 検査目的による献血防止
17	新聞	スポーツニッポン(大阪)	若年層献血の呼びかけと HIV 検査目的による献血防止

※なお、上記以外にも各都道府県において、地元メディアからの取材依頼に基づいて協力を実施しています。

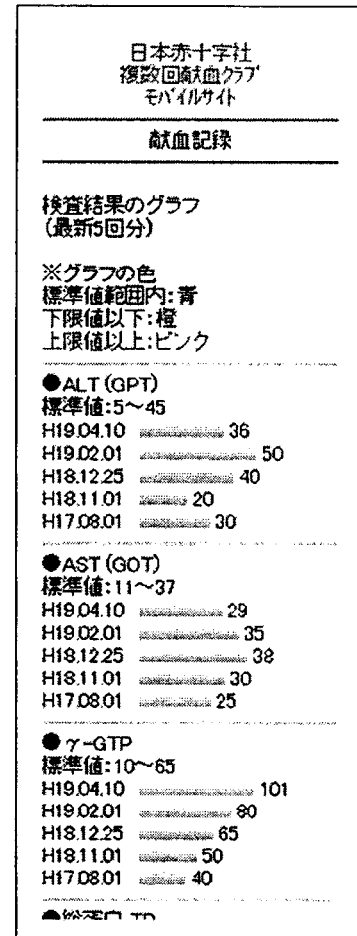
#### (4) 複数回献血者クラブ会員募集の広報活動 (別紙 P12~13 参照)

複数回献血クラブ(以下「クラブ」という。)会員に対して、現在、献血手帳及び献血カードで確認できる献血の履歴や、ハガキによりお知らせしている検査成績(生化学検査、血球計数検査)を携帯電話やパソコンで照会できる機能を会員専用WEBサイトに構築し、献血後に検査成績が作成された時点で、会員個々に携帯メールで検査成績を会員専用WEBサイトで閲覧できることをお知らせするとともに、新規クラブ会員募集用パンフレット等広報資材を活用し、クラブ会員の増加に努めている。

また、病気やけがで輸血を受けた患者さんやその家族の体験談について、その映像を視聴できる映像配信機能を会員専用WEBサイトに構築し、医療における輸血の重要性や血液の使い方への理解促進とともに献血意欲の向上を図っている。



(パソコンの映像配信画面)



(携帯電話の検査成績画面)

#### 4. 献血者確保対策

##### (1) 若年層献血者への献血要請

血漿分画製剤の国内自給を目指し、一層、成分献血者の確保が求められていることから、本年8月より全国一斉に、血小板成分献血ができなくなる55歳の年長者とともに、若年層献血者に対しても、成分献血への協力を働きかけるため、血液事業本部長及び各血液センター所長連名による親展文書の送付を実施するよう全国各血液センターへ通知した。

親展文書の送付予定数は今年度約25万通を見込んでおり、第3四半期に一旦、応諾状況や確保状況を把握し、必要に応じて送付数の追加を考えている。

##### (2) 献血推進団体による献血協力者募集活動の促進

ライオンズクラブ等の献血推進団体の担当者に対する、血液事業の現状や課題について理解を促進するとともに、献血推進団体が行う地域での献血者募集活動の促進を図る目的で、たとえば、血漿分画センターの製造工程の直見学を兼ねた全国的な研修会や会議を実施します。

(3) 若年層献血確保対策

(別紙 P14～21 参照)

(各血液センターで実施している主な対策)

No.	対策	内容
1	はがき、封書による献血依頼	献血登録者や依頼に対して予め承諾を得ている献血者に対して、定期的又は血液不足時に応じて、献血会場等のご案内とともに献血協力への依頼を実施
2	高校卒業献血	18歳の高校3年生を対象に400mL献血確保
3	大学、短大、専門学校の献血実施強化	実施回数を年1回から2回に増やしたり、学生ボランティアや体育会系団体グループへ献血協力の働きかけを実施 学生サマー献血の実施
4	大学祭等における献血啓発活動	献血パネル展の実施
5	スポーツ競技団体への献血の推進	大学野球連盟（北海道） ラグロス協会（東京、大阪）など
6	プロサッカー、プロ野球チームを活用した献血PR活動、イベント等の実施	コンサドーレ（北海道） ザスパ草津（群馬） アルビレックス新潟（新潟） 横浜マリノス（神奈川） 西武ライオンズ、浦和レッズ（埼玉）など
7	著名人、芸能人を起用したイベント、キャンペーンの実施	コンサートやライブの開催
8	献血記念品	若者うけする「けんけつちゃん」等を使用した献血記念品の制作 カップヌードル3Pセット（大阪）
9	年間行事に併せたキャンペーン等の実施	初詣献血、バレンタイン・ホワイトデー献血キャンペーンなど

(4) 複数回献血者確保対策

(別紙 P22～24 参照)

(各血液センターで実施している主な対策)

No.	対策	内容
1	メール、はがき、封書による献血要請	複数回献血クラブ会員に対して、定期的又は血液不足時に応じて、献血会場等のご案内とともに献血協力への要請を実施
2	新規会員募集のためのキャンペーン実施	大学祭

3	新規会員募集のための広報資材の制作と活用	会員募集用ポスター、チラシ、パンフレット等を制作し、献血会場等への設置、献血者への配布、イベント会場でのサンプリング等
4	クラブ未加入者への働きかけ	クラブ未加入の献血者に対して、ダイレクトメールを実施
5	クラブ会員向け情報誌の発行	全国すべての血液センターより、血液センターごとに発行
6	クラブ会員に対する講演会、講習会への参加案内	AED講習会（東京、静岡）
7	クラブ会員を対象とした健康相談会等の実施	主に献血ルームでの医師や看護師による健康相談、栄養士による栄養相談、マッサージ師によるマッサージなど

#### (5) その他の確保対策

(別紙 P25～31 参照)

(各血液センターで実施している主な対策)

No.	対策	内容
1	献血登録者への電話・はがき等による献血要請	HLA 適合血、Rh(-)血、まれな血液型血液等の「献血登録者」に対して、需要に応じて献血要請を実施
2	ポイント制の導入	一定期間中に規定回数の献血協力者に対して、献血記念品を配布
3	献血ルームや移動献血会場への献血者送迎	小規模な企業、団体からの献血者を最寄の献血ルームや移動献血会場へ送迎する
4	献血推進団体への献血者派遣要請	ライオンズクラブやロータリークラブ等の献血推進団体に対して、定期的又は血液不足時に応じて、献血会場等のご案内とともに献血協力への要請を実施
5	都道府県及び市町村献血担当者との連携強化	移動採血車の配車計画策定に必要な移動献血会場ごとの実績情報や状況を報告する等して、お互いの連携を深め、より効率的な献血者確保につなげる。

#### 5. 献血受入れ環境の整備

近年、首都圏を中心に献血ルームにおいて若者向けの様々なイベントやサービスを提供し、若年層献血者の動員を図っている。

また、献血ルームの施設整備の面においては、献血者待合室スペースを広めに確保するなど、献血者へのサービス向上を図るための様々なイベントやサービスが提供できるよう、順次献血受入れ環境の改善を図っている。



ア. 最近5ヶ年の施設数の推移

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	5年間の差異
献血ルーム	119	117	116	116	115	△4
ベッド数	1,237	1,261	1,276	1,273	1,283	46
移動採血車	326	327	318	309	306	△20
献血ルーム面積 (㎡)	32,152	33,309	34,405	34,886	35,598	3,446

イ. 東京都内献血ルームでのイベント実施状況 (平成20年5月現在)

献血ルーム名	イベント名	処遇品
新宿東口献血ルーム	手相占い、タロット占い、ネイルカラー カラーコーディネート、運勢占い、毛髪 チェック、メンタルセラピー、ハンドマ ッサージ	各種ドリンク アイス・ハンバ ーガー・ドーナ ツ(但し食べ放 題ではありません。)
献血ルームぶらっと(池袋)	手相占い、運勢占い、カラーコーディネ イト	
献血ルーム吉祥寺タキオン	子供天国(小さなお子様連れの方へ、専 門スタッフ常駐)、手相占い、指圧、折り 紙教室、運勢占い、新占い、似顔絵コー ナー	
献血ルームSHIBU2(渋谷)	占い、パーソナルカラー診断	
献血ルームい〜すと(池袋)	手相占い、指圧	
有楽町献血ルーム	タロットヒーリング占い ボディーリラクゼーション エンジェルカードリーディング ハンドケア、足裏リフレクソロジー カード占い、パーソナルカラー診断 筆跡診断	
アキバ献血ルーム	手相占い	